

平成25年度

＝地球温暖化防止のため、省エネ行動を促し、継続させる＝

もったいない運動えどがわ

省エネ・節電チャレンジ事業

実施報告書

【頒布版】



平成 26 年 3 月

特定非営利活動法人 えどがわエコセンター

低炭素社会づくり委員会

表紙の写真は、第7回もったいない運動えどがわ区民大会
チャレンジ賞受賞 野見山 小夜 さん(のお子さまたち)

野見山小夜さんは、子どもさんのごみ処分場の見学をきっかけに生活全般でエコに取り組むようになりま
した。省エネ・節電チャレンジに参加して、子どもたちに電気の大切さを伝えました。

目 次

第 1 章 事業概要

1. 趣旨
2. 実施内容
3. 実施スケジュール

第 2 章 事業内容と経過

1. 参加者の募集
2. 実施要領
3. 「省エネナビ」貸出
4. 説明会の実施
5. 結果の通知



第 3 章 結 果

1. 概要
2. 参加世帯の分析
3. 取り組み事例のアンケート集計結果
4. 省エネ・節電アイデア、実践内容の回答
5. 参加者からの感想、意見

資 料

第 1 章 事業概要

1. 趣旨

一般家庭向けの省エネ・節電コンテストを実施することで、区民に明るく楽しく省エネ・節電に取り組んでもらうことを目的とする。

2. 実施内容

(1) 事業名：「もったいない運動えどがわ」省エネ・節電チャレンジ

(2) 内 容：

東京電力から送られてくる「電気ご使用量のお知らせ」をもとに、取り組み期間 3 カ月で、電力使用量の前年比 5%以上削減を達成した世帯に記念品を進呈

(3) 募集対象： 江戸川区在住 500 世帯

(4) 対象期間： 平成 25 年 7 月 1 日から 9 月 30 日

3. 実施スケジュール

5 月 2 日(木) 参加申し込み受け付け開始

6 月 8 日(土) 説明会実施

6 月 12 日(水) 説明会実施

6 月 29 日(土) 申し込み受け付け終了、「実施要領」およびアンケートを参加者へ送付

7 月 1 日(月) ～9 月 30 日(月)まで各世帯で節電にチャレンジ

10 月 11 日(金) 「電気使用量のお知らせ」7～9月分の写しとアンケート提出期限

10 月 28 日(月) データ集計と結果の通知

11 月 7 日(木) 記念品の引き渡し



第 2 章 事業内容と経過

1. 参加者の募集

「広報えどがわ」、えどがわエコセンターホームページ、ちらしで公募、5 月 2 日～6 月 29 日の期間、申込順で受付。

【ちらしの配布】

- ① 交換便による区内施設(図書館、コミュニティ施設等)での配布
- ② 平成 24 年度「省エネ・節電チャレンジ」参加者宛ダイレクトメール
- ③ グリーンプラン推進校※10校での各家庭3,250世帯に配布依頼

※当法人が支援する幼稚園・小中学校環境学習モデル校

結果、募集 500 世帯に対して、参加世帯は 148 にとどまった。

2. 実施要領

(1)チャレンジ期間

募集では、チャレンジ期間は 7 月 1 日～9 月 30 日としているが、東京電力から送られてくる「電気ご使用量のお知らせ」7～9月分が実際の取り組み期間(最も早い世帯で6月3日～9月2日、最も遅い世帯で6月27日～9月29日)となっている。

(2)削減率の算出

参加者には7・8・9月分の「電気ご使用量のおしらせ」の写しとアンケートの回答を、到着次第、事務局に郵送あるいは FAX で送付するよう、実施要領にて通知した。電気使用量をデータ化して、削減率を下記の通り算出した。

【前年比削減率計算方法】

α = 昨年7月～9月の電気使用量の合算、 β = 当年7～9月の電気使用量の合算、とすると

$$\text{電気使用量削減率} = (\beta - \alpha) \div \beta \times 100 \%$$

3. 「省エネナビ」貸出

普段の電力消費の状況や、省エネ行動の効果について検証することを目的として、家電の消費電力を測定・記録できる機器「省エネナビ」を希望する世帯に貸出した。

省エネナビ貸出については別に報告する。

4. 説明会の実施

説明会では、参加の概要(検針票の写しやアンケートの提出等)と、節電のコツや注意点(エアコンの過度な節電による熱中症等)について解説した。

参加人数は、6月8日(土)が25人、12日(水)が7人であったが、大多数が省エネナビの参加者で、省エネ・節電チャレンジのみの参加者はごく少数だった。

5. 結果の通知

参加者全員に、目標達成・未達成の通知をし、5%以上削減を達成した世帯には、記念品受取日の通知をした。



第 3 章 結果

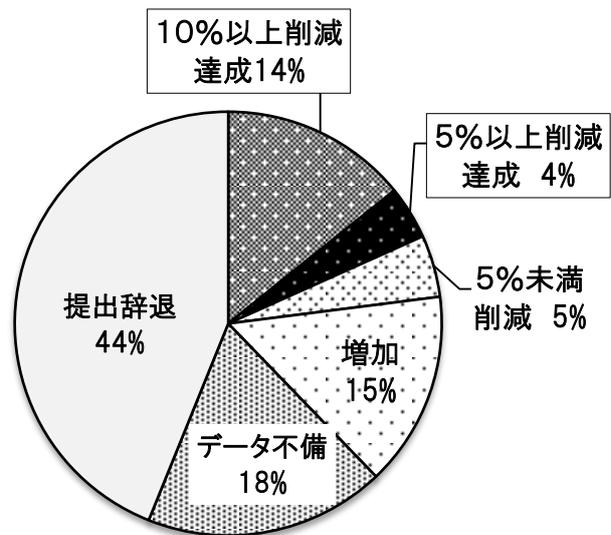
1. 概要

取り組みの結果、昨年同月の電気使用量と比較して、5%以上10%未満の削減に成功したのが6世帯、10%以上が21世帯だった。あわせて27世帯がチャレンジに成功した。

データ不備、未提出が92世帯あり、分析対象となる世帯数は23%(56世帯)にとどまった[表 1・図表 1]。

	世帯数		
10%以上削減達成	21	27	56
5%以上削減達成	6		
5%未満削減	7	29	
増加	22		
データ不備	27	27	
提出辞退	65	65	
参加合計 148 世帯			

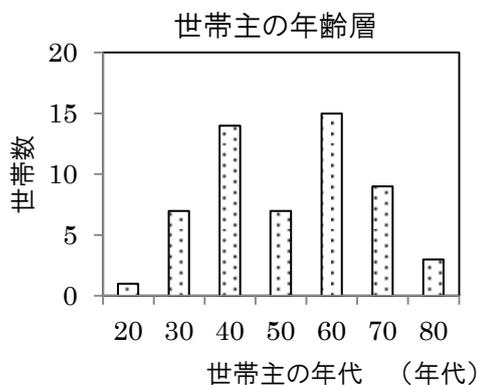
[表 1]



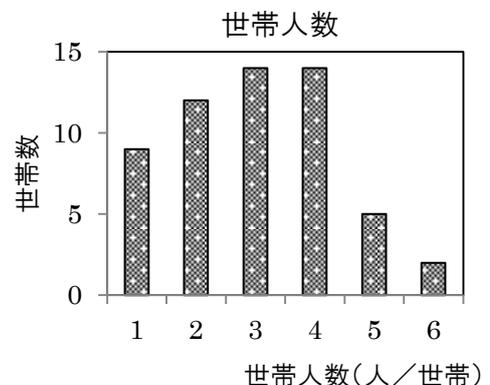
[図表 1]

2. 参加世帯(56世帯)の分析

参加世帯の年代は、40歳代と60歳代が多くなっている[図表 2]。世帯人数は3~4人が多くなっている。昨年度と同様の傾向を示している[図表 3]。

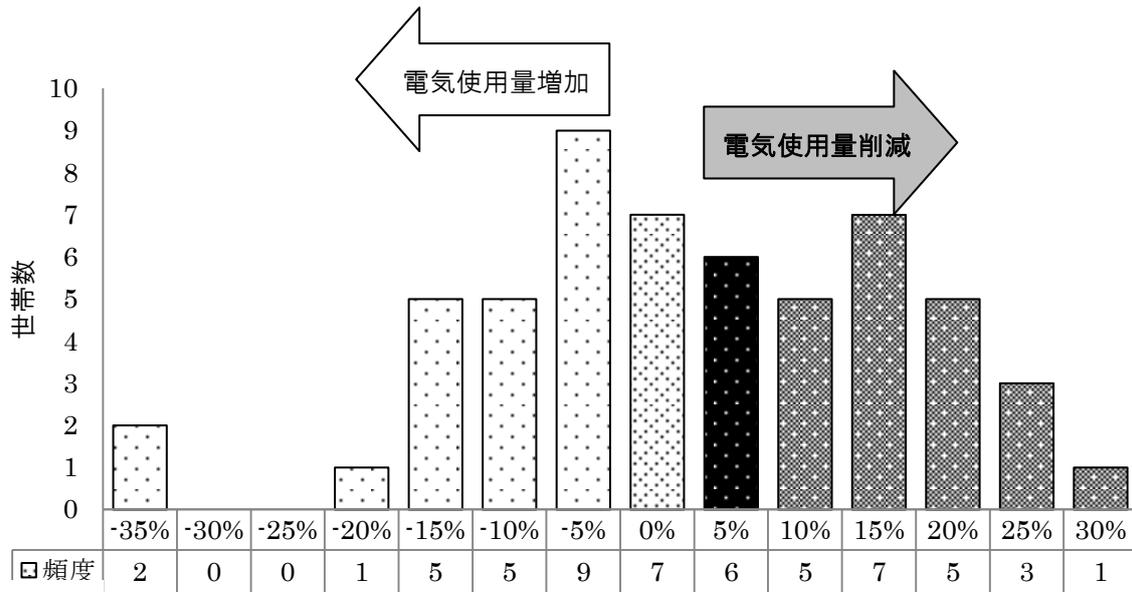


[図表 2]



[図表 3]

電気使用量削減率別世帯数



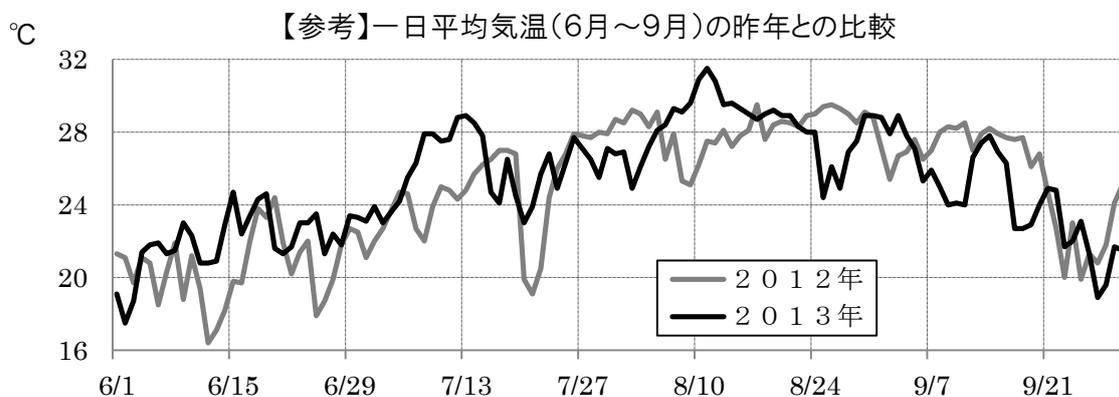
【図表4】

(以下、[図表 4]について)電気使用量削減率別で世帯数をみると、全体では-5%(5%の使用量増加)の世帯が最も多くなっている。

削減率の最大値は、31.7%(70歳代・2人暮らし)であった。

総務省統計局の電気使用量の推移(平成 26 年 3 月 28 日付「家計調査」追加参考図表2)によると、7~9月昨年度比は-2.3%(2.3%の増加)となっている。

増加した原因として、震災後の省エネ行動の効果が頭打ちになってきていること、[図表5]にあるように、8月中旬頃の酷暑が冷房の使用など電力消費量を引き上げたことが考えられる。



【図表5】

※気象庁ウェブサイトよりデータをダウンロードし作成

3. 取り組み事例のアンケート集計結果

チャレンジの参加者には、[表 2]の項目のうち取り組んだ項目をアンケートに回答していただいた。

アンケート項目		取り組んだ世帯数
1	エアコンを使用しない	12
2	エアコンと扇風機を併用する	39
3	エアコンの設定温度を適切(28℃)にする	34
4	エアコンのフィルターをこまめに(2週間に1回程度)掃除する	24
5	エアコンの室外機に日よけをしたり、水をかける	15
6	冷蔵庫に省エネのれん(カーテン)をたらず	14
7	冷蔵庫の温度を適切にする	41
8	冷蔵庫の中を整理して、つめすぎない	41
9	テレビを見る時間を短くする	30
10	いらぬ照明を消す	51
11	照明を白熱球から電球型蛍光灯やLED電球にかえる	30
12	電気ポットは使用しない	42
13	電気ポットは必要な時だけスイッチをいれる	14
14	「みどりのカーテン」で日よけ、涼をとる	21

[表 2]



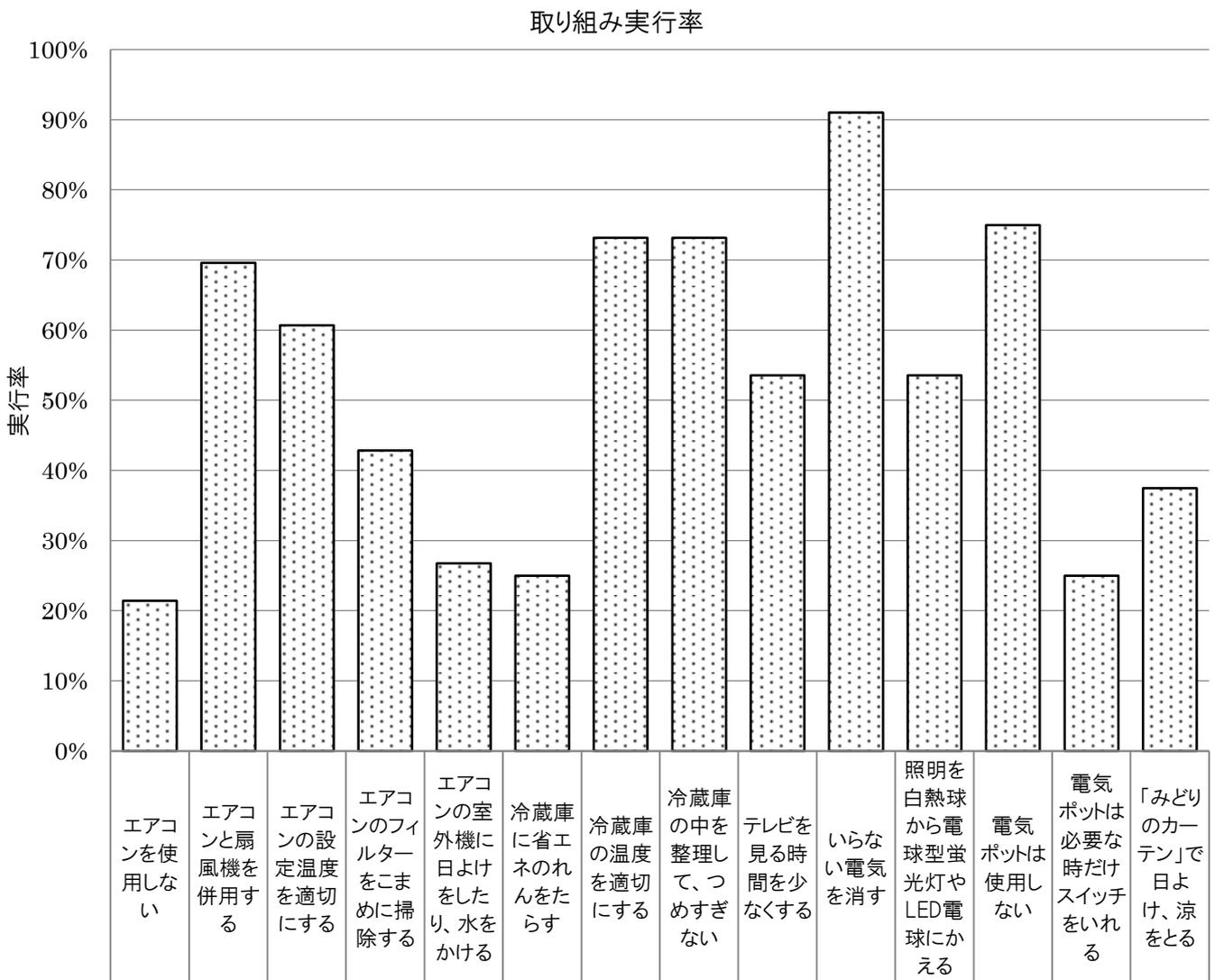
(以下、[図表 6]について)アンケートにある節電の取り組み事例の実行率は、昨年度と概ね同様の傾向を示している。

比較的取組みやすい取り組みは実行率が高く、「エアコンの室外機に日よけをしたり、水をかける」「冷蔵庫に省エネのれんをたらず」などの面倒な取り組みの実行率が低くなっている。

昨年度の事例に加え、今年度新たに3つの項目、①エアコンを使用しない、②電気ポットは使用しない、④「みどりのカーテン」で日よけ、涼をとる、を加えている。

これによって、電気ポットはいかに使うかというより、そもそも使わない世帯が増えていることが分かった。

また、「みどりのカーテン」についても、昨年も30%代でほぼ同様の実行率であった。



[図表6]

4. 省エネ・節電アイデア、実践内容(自由記述)の回答

自由記述に共通する取り組みを[表 3]に整理した。

自由記述にあった取り組み事例	平成 24 年度	平成 25 年度
使わない家電はコンセントを抜き、待機電力 OFF	28	5
風通しをよくする	27	5
家族みんなが同じ部屋で過ごすようにする (テレビを見る、就寝、入浴する等)	25	4
すだれ、よしず、遮光カーテン、マット等で日よけ	25	6
電気炊飯器の保温をやめる、まとめて炊く	16	2
家電の買い替え	15 (冷蔵庫 11) (エアコン 4)	6 (冷蔵庫 2) (エアコン 4)
保冷剤を首に巻く、枕にする	11	4
トイレの便座スイッチを切る	12	5
打ち水をして涼をとる	12	3
お米をお鍋(ガス)で炊く	12	2
契約アンペアを下げた	7	0
お茶を魔法瓶で保冷、冷蔵庫の開閉を減らす	6	1
床掃除は掃除機ではなく、ほうき、モップを使用	4	3
すぎぎ 1 回の洗濯用洗剤を使う	3	2

[表 3]

この他には、電子レンジや食器洗い機の使用を控える、冷蔵庫の側面を掃除する、洗濯機の使用を一日おきにするなどの回答があった。

また、「洗濯物を日よけにする」「冷凍庫の隙間に水を入れたペットボトルを入れる」というアイデアが寄せられた。

5. 参加者からの感想、意見

自由記述には、下記のような参加者からの意見や感想も寄せられた。

【江戸川・50歳代・3人世帯】節電チャレンジに参加することで節電意識が根付いた。チャレンジ期間が終わっても、電気の使い方について今後見直していきたい。

【東松本・40歳代・1人世帯】冷蔵庫の使い方を工夫すると節電効果が高いことを実感した。

【松江・60歳代・2人世帯】洗濯機の使用を一日おきにし、すすぎ一回の洗剤に替えたところ、水道使用量が5m³減った(※東京都で消費する電力量の1%が水道のために使われています)。

【西葛西・40歳代・3人世帯】家族の協力で目標が達成できた。これを機会にもっと節電に取り組んでいこうと思う。

【松島・30歳代・5人世帯】乳児がいてエアコンを消すことができなかつたので、なるべく家族で同じ部屋に過ごすことを心がけた。これからも勉強しながら、節電・省エネ生活を楽しんでいきたい。

【上篠崎・60歳代・1人世帯】エアコンは設定温度28℃にし、点けたときの電力消費が大きいと説明会で聞いたので、点けたり消したりしないようにした。

以前は電気を使用してもお金さえ払えばよい、という考えだった。原発事故があつてからは電気を大切に使用するようになり、無駄をなくし使用量は年々減っている。今年もよいチャレンジになった。

【南小岩・50歳代・5人世帯】昨年は10%を超える節電に成功しましたが、今年の使用量は増加してしまつた。また来年度リベンジしたいと思う。

【東小松川・70歳代・1人世帯】日中は外出して商業施設などの避暑地で過ごして無理のない節電に努めた。省エネ・節電チャレンジに参加することでより意識して節電することができた。

【大杉・30歳代・5人世帯】家族で協力して取り組み、節電できた。

【南篠崎町・30歳代・3人世帯】出産のため会社を辞め、家にいることが多く子どもが増えたため、節電しても使用量を減らすことは難しかったが、意識するだけでもよかったと思う。また来年もチャレンジしたい。

【中央・30歳代・4人世帯】目標を達成できなかった原因を家族で話し合った結果、「エアコンタイマーの入れ忘れ」「テレビ・パソコン電源の消し忘れ」だということで、今後はこまめに消すようにし、来年もまたチャレンジしたい。

【松江・40歳代・6人世帯】これまでは東京電力からくる「電気ご使用量のお知らせ」を特に気にもせず廃棄していたが、節電チャレンジに参加して、内容をよく見るようになった。今後も引き続き節電に取り組んでいきたいと思う。

資 料

● もったいない運動えどがわ ●

省エネ☆節電チャレンジ 参加者大募集！

- 対象：江戸川区在住の500世帯（申込順）
※戸建て・集合住宅は問いません
- 内容：7～9月の3ヶ月間、省エネ・節電に取り組んでいただき、3ヶ月の消費電力量の平均が前年度より5%以上減らすことができた世帯に賞品を進呈いたします。
- 申込方法：電話またはFAXでお申込みください。
FAXでのお申し込みは裏面をご利用ください。
- 申込期間：平成25年5月2日（木）
～5月31日（金）

省エネナビ



＊ ＊ご希望の方には【省エネナビ】を貸出します。

冷蔵庫、テレビ、エアコン等の電気消費量をはかることができます。1ヶ月はかった後に、時間帯ごとの使用量が一目でわかる診断書をお送りします。

- 申し込み＆問い合わせ：特定非営利活動法人 **えどがわエコセンター**



〒134-0091 江戸川区船堀 4-1-1 タワーホール船堀 3階

電話：5659-1651 FAX：5659-1677

ホームページ：<http://www.edogawa-ecocenter.jp/>

開館時間：9：00～17：30 定休日：日曜・祝日

※6月1日（土）は環境フェア開催のため臨時休業いたします

▲ えどがわエコセンター FAX : 5659-1677

省エネ☆節電チャレンジ 申込み用紙

* (氏名・住所・電話番号) は必ずご記入ください

世帯主 氏名*	フリガナ	受付日	No.
住所*	(〒 -)		
連絡先 <small>携帯メール不可</small>	電話番号*	FAX	
	電子メール		
説明会 参加	6/8 (土) 11:00~12:00 タワーホール船堀 303 会議室		説明会に出席される場合は、 どちらかに○を付けてください。
	6/12 (水) 11:00~12:00 タワーホール船堀 403 会議室		
省エネナビ の貸出	貸出しを希望する		希望される方は ○をつけてください

【省エネナビ】 貸出しご希望の方には、事前にアンケート用紙等をお送りします。

アンケートに必要事項を記入の上、説明会にご持参ください。

説明会で【省エネナビ】をお渡しいたします。

貸出しをご希望でない方は、説明会に出席するかしないかは自由です。

1. 実施内容

7～9月の3カ月間、省エネ・節電に取り組んでいただき、3カ月の消費電力量の平均が前年度より5%以上減らすことができた世帯に記念品を進呈いたします。

2. ご提出いただくもの

東京電力から送られてくる「電気ご使用量のお知らせ」9月分が到着次第、**平成25年7・8・9月分**の【写し】を裏面のアンケートと一緒に、えどがわエコセンターに郵送またはFAXでお送りください。最終提出期限は**10月11日(金)**です。 ※原本は領収証にあたりますので、送らないようにお願いします。

3. 結果のお知らせと記念品の引き渡し

参加者の方全員に結果の通知をいたします。5%以上を達成された世帯には、受け渡し日をあわせてお知らせします。記念品は、えどがわエコセンター事務局（タワーホール船堀 3階）でお渡しします。郵送は致しませんのでご了承ください。

パソコンのメールアドレスをお持ちの方は、件名に【節電チャレンジ参加】、メッセージ欄に【世帯主氏名】と【電話番号】を明記して【edogawa-ecocenter4@bz01.plala.or.jp】あてにメールを送信ください。結果の通知をメールにてお知らせいたします。

ご希望の方にはアンケート書式をお送りすることもできます。

4. 記念品

★5%削減を達成した世帯には…

- ①区内商品券 1,000円分 ②節水シャワーヘッド

★★10%削減を達成した世帯には…

- ③区内商品券 2,000円分 ④手動/太陽光充電LEDライト&ラジオ

※ご希望が集中した場合、やむを得ずご希望に添えない場合もございます。ご了承ください。

*ご参考（削減量の計算方法）

$$\left[\text{Bの3カ月分の合算} \right] - \left[\text{Aの3カ月分の合算} \right] \div \left[\text{Bの3カ月分の合算} \right] \times 100 = \left(\quad \right) \%$$

平成25年7～9月分が対象

毎度ご利用いただきありがとうございます		様
電気ご使用量のお知らせ		
ご使用場所		
ご使用期間	3月8日～4月5日	ご契約種別
検針月日	4月6日(29日間)	従量電灯B
ご使用量	316kWh	ご契約
請求予定金額	7,816円	40A
(うち消費税等相当額)	372円	当月指示数
基本料金	1,092円00銭	3067
電力1段階料金	2,144円40銭	前月指示
電力2段階料金	4,114円80銭	2751
電力3段階料金	386円08銭	差
燃料費調整	113円76銭	計器乗率(倍)
太陽光促進付加金	18円	取替前計量値
口座振替割引	-52円50銭	計器番号(下3桁)
		151
		昨年4月分は31日間で387kWhです。
		今月分は昨年と比、18%減少しています。
		太陽光促進付加金単価(1kWhあたり) 6銭
		燃料費調整のお知らせ(1kWhあたり)
		4月(当月)分 +0円36銭
		5月(翌月)分 +0円34銭
		翌月分は当月分に比べ -0円02銭
		今月分 振替予定日 4月18日
		次回検針予定日 5月10日
		地区番号 お客さま番号
		検針員

電気料金等領収証(口座振替専用)

24年3月分	ご使用期間
領収金額	2月8日～3月7日
8,008円	
うち消費税等相当額	381円
契約	40A
ご使用量	325kWh

上記金額を3月21日口座振替により領収させていただきます。

お客さま番号

お問い合わせは、下記の電話番号まで～おかけ間違いにお気をつけください。～

お問い合わせ先/カスタマーセンター

お引越、ご契約の変更 0120-995-001

その他の電気に関するご用件 0120-995-002

東京電力株式会社 江東支社(006)

●もったいない運動えどがわ●

省エネ☆節電チャレンジ アンケート

世帯主 氏名	フリガナ	参加者ID No. ()	
		性別	<input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性
		年代	世帯人数
		()代	()人

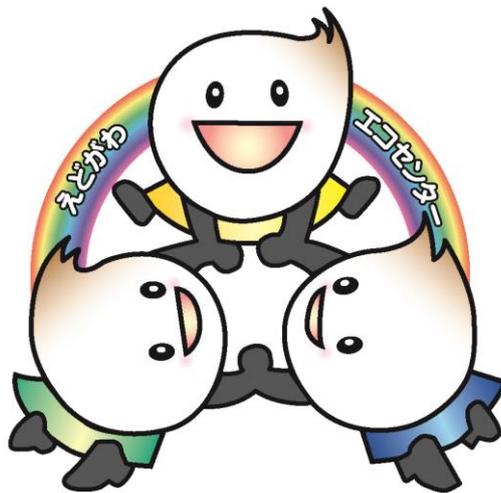
●取り組んだ項目にチェック してください

主な取組項目		チェック
1	エアコンを使用しない	
2	エアコンと扇風機を併用する	
3	エアコンの設定温度を適切 (28℃) にする	
4	エアコンのフィルターをこまめに (2週間に1回程度) 掃除する	
5	エアコンの室外機に日よけをしたり、水をかける	
6	冷蔵庫に省エネのれん (カーテン) をたらす	
7	冷蔵庫の温度を適切にする	
8	冷蔵庫の中を整理して、つめすぎない	
9	テレビを見る時間を短くする	
10	いらぬ照明を消す	
11	照明を白熱球から電球型蛍光灯やLED電球にかえる	
12	電気ポットは使用しない	
13	電気ポットは必要な時だけスイッチをいれる	
14	「みどりのカーテン」で日よけ、涼をとる	

●上記以外の取り組み内容、ご感想等をどうぞ！

●希望する記念品にチェック してください

★5%削減達成の場合	チェック	★★10%削減達成の場合	チェック
1. 区内商品券 1000 円分		3. 区内商品券 2000 円分	
2. 節水シャワーヘッド		4. 手動/太陽光充電 LED ライト&ラジオ	



平成25年度 もったいない運動えどがわ 省エネ・節電チャレンジ事業 実施報告書

平成 26 年3月吉日 発行

編集・発行： 特定非営利活動法人えどがわエコセンター

〒134-0091 江戸川区船堀 4-1-1 タワーホール船堀 3 階

電 話 03-5659-1651 FAX03-5659-1677